

# てんてい新聞

18年目 冬にきたん



十二月四五にはじまって、中旬まで三回も雪が降る。四五日の雪は、山一つを降らせて、よりの街方面が多かつた様で、孤立、覆雪が不通どころか、数回全国ニュースにまでなりました。心配して、多めの方々からお問い合わせの電話を頂きました。ありがとうございます。

そんな雪があり、今年は「もんてきにかえ」の大嵐は無理かもよんて心配しているが、なんとか、年々始の帰省者の「もんてき」をお迎えする事が出来ました。

十八回目です。

十月頃になると「今年も作るんかえ」と時々聞かれたりもするし、この下をまたしなり絵を

## 冬には雪が降る

15.1.No211  
発行市岡日映  
責任 086368-5292

四季がはっきりしている日本の一年、夏は暑くて、冬は寒い。そして、四国では、四国では、白人雪景色、南国高知でも、山々は白くなる。

祖岩も冬には必ず雪が降る。そして、数回は、道路の雪かきをしなければ、孤立」となる。

それが、先にも書きましてしたが十二月に早々と、六十山も積った。

道路の雪かきを待つというだが、来ない、既の雪かきを二回もして待つという。

病気がもたらせば、心配するといとはない。食料はある。

それでも、不安はかくせまい。高野地

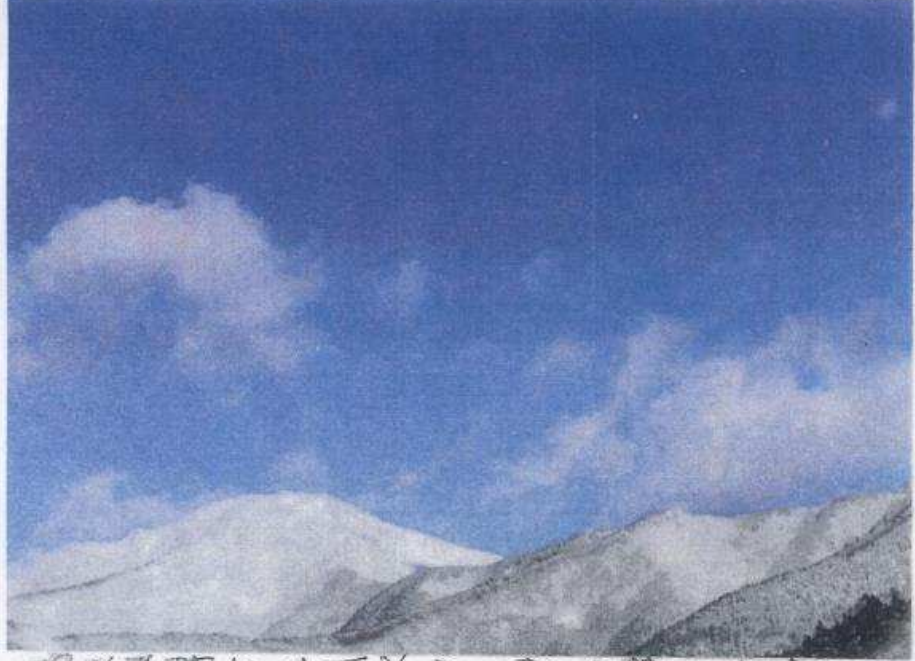
病気が待つてはくれないのだから。

考えたりして、チラシと頭の中に……。いつもは、一緒に絵を画くMさんから「まじがはい。

今年ももう絵は決まると、休日会場へ。

なんでかんだ言いたくないが、イラストと、私はペンキと文房になるまじが見学です。毎年、この一日が十二月の集みもありません。

道路への設置は、いつもの様に「愛宕」のばいさんに手伝っていただきました。又材料は、N土建さんに借りて設置、M白さんありがとうございます。



支援所へ、「雪かきを要請」といって人から、何か入れがどのの、このので、雪かきしないらどのの話があった。

何なることか、住民が困っている時、あるいは、自然災害などの時に機能しない体制なんど必要ないじゃないか。

まじ、今回の事で死んでといふ事は、なかつたかのの、……。それも、毎年雪が降り、道路の雪かきが不可欠な東祖岩にといふのに。

とさかん、十二月の雪には、様々な問題が表れたい様ですが、困った感じです。

そうか、なると、地震でなんど、毎日の様に威嚇されているというのに。